

I 令和3年度札幌市医師会西区支部事例検討研修会（西区在宅ケア連絡会 第258回例会との合同開催）

日 時：令和3年8月19日（木）18：30～20：00 場 所：web 開催

テーマ：「在宅ケアにおける COVID-19—多職種で取り組む事例検討会—」

ファシリテーター 医療法人財団 老蘇会 静明館診療所 大友宣 先生

新型コロナウイルス感染症は、ついに第5波が拡大中です。地域ケアに関わる自分たちも新型コロナウイルス感染症に関して様々な経験をしてきましたが、その中でも、連携がうまくいかず困ったり、感染が恐ろしかったりしたことがあったのではないのでしょうか。これからは新型コロナウイルスがある日常で業務をしなければなりません。今回は事例をとおして地域の多職種がどのように行動すればよいのかグループワークで学びました。日本在宅医療連合学会で作成されたコンテンツを使い、新型コロナウイルス疑い例の対応、PCR陽性となったときの対応、濃厚接触者の対応、自宅で療養しなければならないときの対応などグループワークと解説を交えてワークショップを実施しました。

< 今回取り組んだ事例 >

	グループファシリテーター
A 在宅患者が発熱し、PCR 検査を受けた場合の初期対応	1 高山さん 2 神山さん
B 在宅患者、新型コロナ PCR 陽性判明後の対応	3 相馬さん
D 嚥下訓練中に濃厚接触者となった訪問看護ステーションの言語聴覚士の事例	4 藤田さん
H PCR 陽性だが、最期を家で過ごしたいと希望する末期がんの方	5 佐藤さん 6 平尾さん
J 感染情報が伝わらず混乱をきたした高齢夫婦の事例	7 海老さん

< 参加者の感想 >

- ・コロナウイルスに対しての実例をもとに話し合えたことが良かった。
- ・区内で身近に起きている事例なので意見交換できました。
- ・現に現場で起きている問題だったので、課題共有や改善に役立ちます。
- ・〇〇区では最近他職種連携の会があまりないため、とても有意義な会に参加できて非常に良かったです。
- ・Zoom でないとなかなか区外の研修に参加ができないため、機会があればまた参加させていただきたい。
- ・とても地域で連携が取れている感じがして良かったです。
- ・より多くの人たちに参加していただき、何回も繰り返し実施しても良い。
- ・多事業所多職種間で日々の業務に役立つ事例検討が出来た。

※ 新型コロナウイルスが在る日常でケアを継続して行くという認識の下、他の課題と同様に西区内で合意できるルールづくりを求める声も届いており、今後西区支部・西区在宅ケア連絡会で検討していくこととしたい。

（案）9月 西区内の課題抽出 10月 課題の解決策を検討

II （令和2年度西区支部地域ケアに関する研修会での確認事項）

感染対策上の質問は以下にお寄せください。西区在宅ケア連絡会ホームページに Q&A 集として掲載します。

西区在宅ケア連絡会 : www.zaitaku-care.info

北海道医療センター地域医療連携室 : 101-renkei-2@mail.hosp.go.jp

III 西区在宅ケア連絡会報告書 XVII（定期発行分）と XVIII（認知症ケアに関する研修会）

西区支部会員以外に、行政機関・地域包括支援センター・介護予防センター・西区社会福祉協議会を含め、西区の介護事業所等の方々にお届けし、西区支部の実践について報告致します。

IV 今後の予定

- 9月9日（木）18：30 259 回例会 <西区支部研修会との合同開催> Zoom での開催
「地域ケアにおける COVID-19—多職種で西区内の課題を抽出しよう（仮題）」